

2020年3月期 第3四半期 決算概要

2020年2月5日
シスメックス株式会社

<本プレゼンにおける掲載内容の変更について>

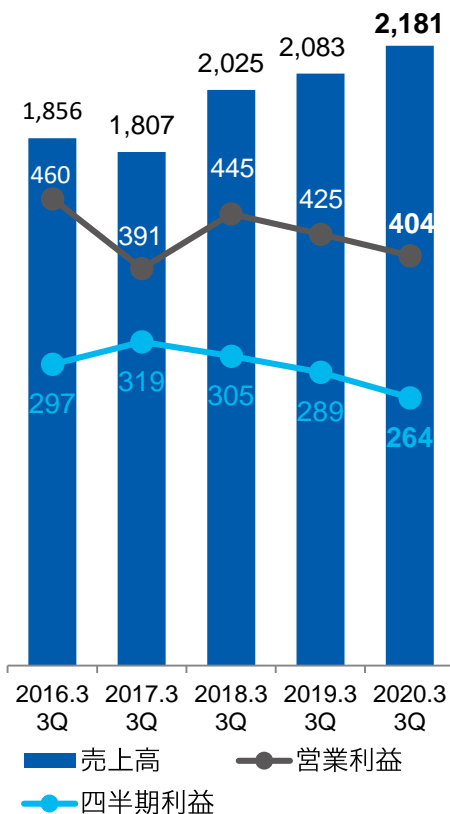
- 2019年3月期第3四半期までは所在地別にて掲載していましたが、今期より地域別での掲載へ変更しております。
- 所在地別の売上高、営業利益については、参考資料として掲載しております。

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

決算総括

(億円)



	2020年3月期3Q	前年同期
1USD	108.7円	111.1円
1EUR	121.1円	129.5円
1CNY	15.6円	16.6円

(億円)

	2020年3月期 3Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	2,181.6	100%	2,083.7	100%	104.7%
売上原価	1,004.5	46.0%	925.6	44.4%	108.5%
販売費及び一般管理費	617.5	28.3%	603.0	28.9%	102.4%
研究開発費	161.8	7.4%	133.3	6.4%	121.4%
その他の営業損益	6.4	0.3%	4.0	0.2%	161.3%
営業利益	404.2	18.5%	425.7	20.4%	95.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	264.9	12.1%	289.0	13.9%	91.7%

- **売上高** 円高の影響を受けるも、国内、海外共に伸長し、増収
- **営業利益** 増収効果により粗利益が増加するも、円高の影響やバイオ診断薬拠点新設による研究開発費の増加等により、減益
 - 為替の影響 売上高 △94.3億円 営業利益 △32.7億円
 - 前年同期為替レート適用の場合 売上高 109.2% 営業利益 102.6%
- **四半期利益** 為替差損の影響や、税負担率の増加等により、減益
 - 為替差損益 △14.4億円

売上高の増減要因（地域別）

2020年3月期 3Q

前年同期比

実績

構成比

円貨ベース

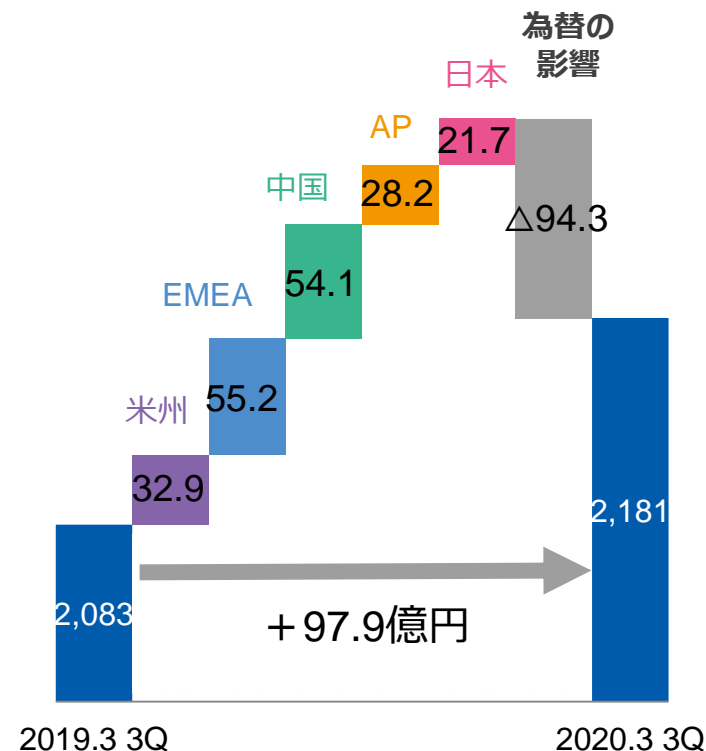
現地通貨ベース

売上高	2020年3月期 3Q		前年同期比	
	実績	構成比	円貨ベース	現地通貨ベース
売上高	2,181.6	100.0%	104.7%	109.2% [※]
米州	506.7	23.2%	103.9%	106.4%
EMEA	570.0	26.1%	103.2%	110.4%
中国	565.9	26.0%	103.3%	110.0%
AP	198.8	9.1%	112.1%	115.9% [※]
日本	339.9	15.6%	106.8%	-

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

地域別売上高

(億円)



事業別・品目別売上高



(億円)

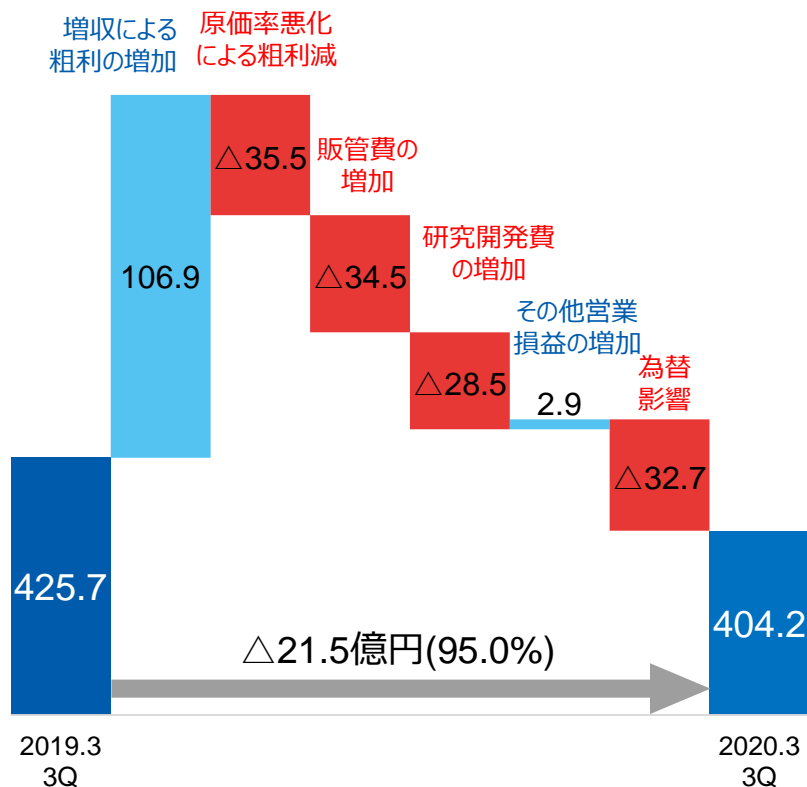
事業別	2020年3月期 3Q		前年同期		前年同期比	前年同期比 (前期レート)
	実績	構成比	実績	構成比		
ヘマトロジー	1,360.2	62.3%	1,285.2	61.7%	105.8%	110.3%
凝固	344.9	15.8%	342.7	16.5%	100.6%	105.5%
尿	152.7	7.0%	149.2	7.2%	102.3%	107.4%
免疫	110.3	5.1%	99.8	4.8%	110.5%	114.8%
生化学	21.5	1.0%	23.1	1.1%	93.1%	94.5%
FCM事業	11.2	0.5%	11.1	0.5%	100.6%	105.6%
IVDその他	101.3	4.6%	97.4	4.7%	104.0%	107.9%
IVD事業	2,102.3	96.4%	2,008.9	96.4%	104.7%	109.2%
LS事業	79.2	3.6%	74.8	3.6%	105.9%	111.1%
売上高 計	2,181.6	100.0%	2,083.7	100.0%	104.7%	109.2%

品目別	機器	557.3	25.5%	543.8	26.1%	102.5%	107.0%
	試薬	1,281.9	58.8%	1,232.2	59.1%	104.0%	108.6%
	(中国での品目組み替えの影響を除く)※					(105.4%)	(110.0%)
	サービス	268.6	12.3%	248.9	11.9%	107.9%	111.8%
	(中国での品目組み替えの影響を除く)※					(102.0%)	(105.3%)
その他	73.6	3.4%	58.6	2.8%	125.5%	131.6%	
売上高 計	2,181.6	100.0%	2,083.7	100.0%	104.7%	109.2%	

※中国地域において、2019年3月期2Qまで「試薬」に計上していた売上の一部を、2019年3月期3Qより「サービス」へ組み替えています。

営業利益

(億円)



※ バイオ診断薬拠点関連費用合計：+14.7億円

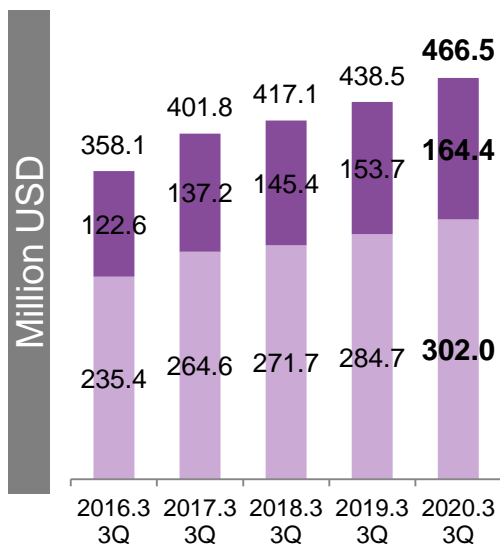
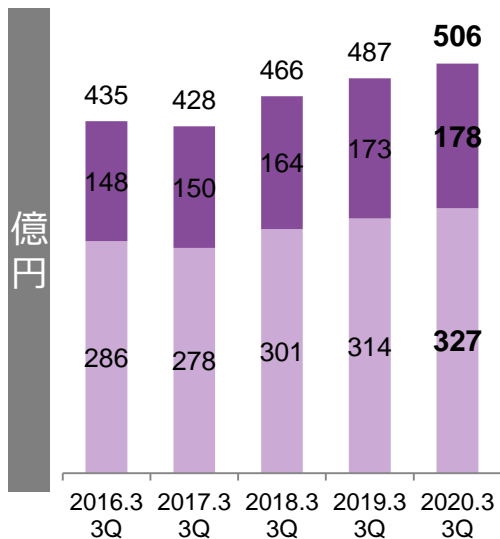
(原価：+2.7億円、販売管理費：+2.9億円 研究開発費：+9.1億円)

為替の影響を除けば、実質増益

※ 下記数字は為替の影響を除く

- 増収による粗利の増加 : 106.9億円
- 原価率の悪化 : 1.6pt (△35.5億円)
 - ・ 中国における販管費から原価への組み換え : +0.7pt
 - ・ 機器仕入れの増加等による影響 : +0.5pt
 - ・ 米国や中国におけるサービスコストの増加 : +0.5pt
 - ・ プロダクトミックスの変化 (試薬構成比の上昇) : △0.4pt
- 販売管理費の増加 : 34.5億円
 - ・ 日本における労務費増等による影響 : +18.6億円
 - ・ 米国および中南米における販売体制の強化 : +15.4億円
 - ・ EMEA尿直販等による販売体制の強化 : +5.4億円
- 研究開発費の増加 : 28.5億円
 - ・ ヘマトロジー新製品やLS事業等への投資 : +19.4億円
 - ・ バイオ診断薬拠点による費用増加 : +9.1億円
- 為替の影響 : △32.7億円

売上高



■ 上期累計(4-9月) ■ 3Q四半期(10-12月)

(億円)

	2020年3月期	前年同期	前年同期比	
	3Q		(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	506.7	487.7	103.9%	106.4%
機器	148.6	149.8	99.2%	101.7%
試薬	228.6	212.6	107.5%	110.0%
サービス・その他	129.4	125.2	103.3%	105.7%

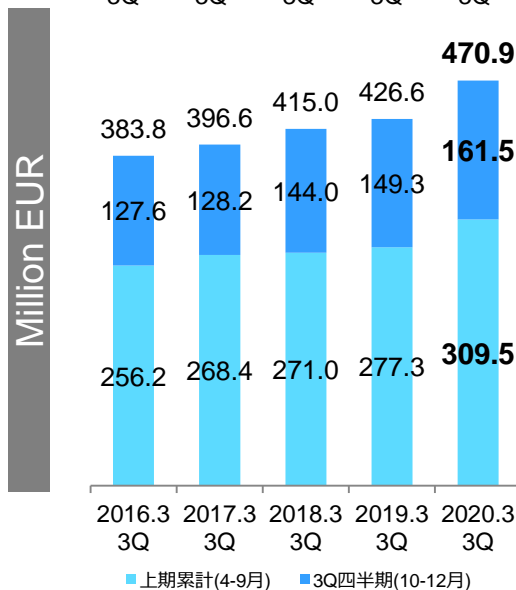
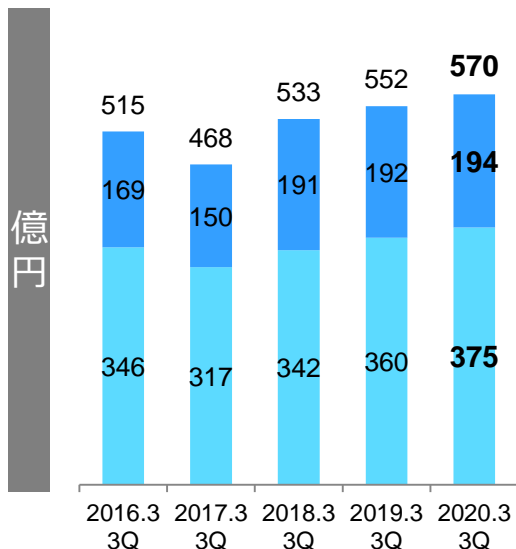
米国の凝固・尿分野が減収するも、北米・中南米共にヘマトロジー分野が伸長し、増収

- 機器：米国において、前年同期に大手検査センター向け案件があった凝固分野の売上減少に加え、尿分野における新製品の市場導入遅れも影響し、横ばい
- 試薬：ヘマトロジー機器の設置台数増加により、北米・中南米共に試薬売上が堅調に推移したこと等により、増収

トピックス

- ブラジルのヘマトロジー中下位市場において、3Qより新体制での販売を開始

売上高



(億円)	2020年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	570.0	552.3	103.2%	110.4%
機器	157.1	154.7	101.6%	108.6%
試薬	326.7	313.7	104.1%	111.4%
サービス・その他	86.1	83.8	102.8%	110.0%

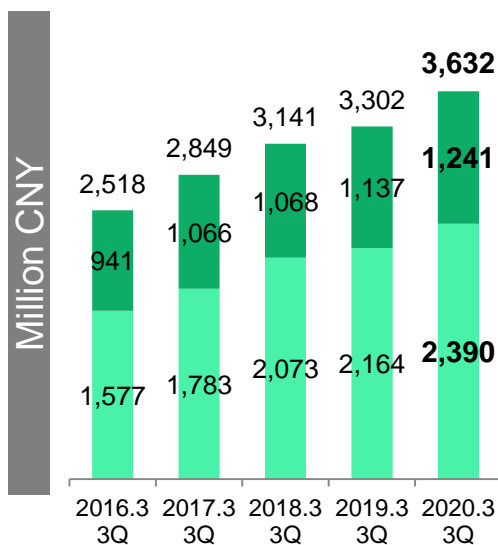
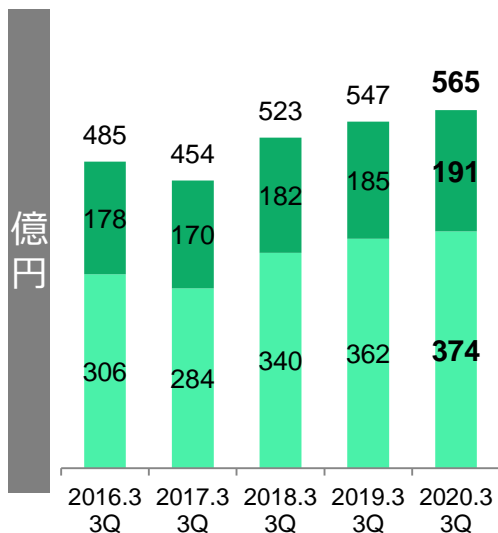
北欧、東欧、中東等を中心としたヘマトロジー分野の売上伸長や、イギリス、フランスにおける尿分野の直販等が伸長し、増収

- 機器：主にヘマトロジー分野において、北欧等でのシステム製品販売に加え、検査センター向け案件を獲得した東欧等で増収。また、尿分野直販に切り替えたイギリス、フランスで継続的に伸長し、増収
- 試薬：中東やロシア等におけるヘマトロジー分野に加え、尿分野の新製品売上が伸長し、増収

トピックス

- Systemex Europeにおいて、オンラインを活用したカスタマートレーニングが高く評価され、「Best Customer Training Program」※シルバー賞を受賞
※Brandon Hall Group主催

売上高



■ 上期累計(4-9月) ■ 3Q四半期(10-12月)

(億円)	2020年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	565.9	547.9	103.3%	110.0%
機器	140.8	139.8	100.7%	107.3%
試薬 ※	370.3	377.7	98.1% (102.3%)	104.5% (108.9%)
サービス・その他 ※	54.7	30.3	180.2% (154.4%)	190.3% (163.9%)

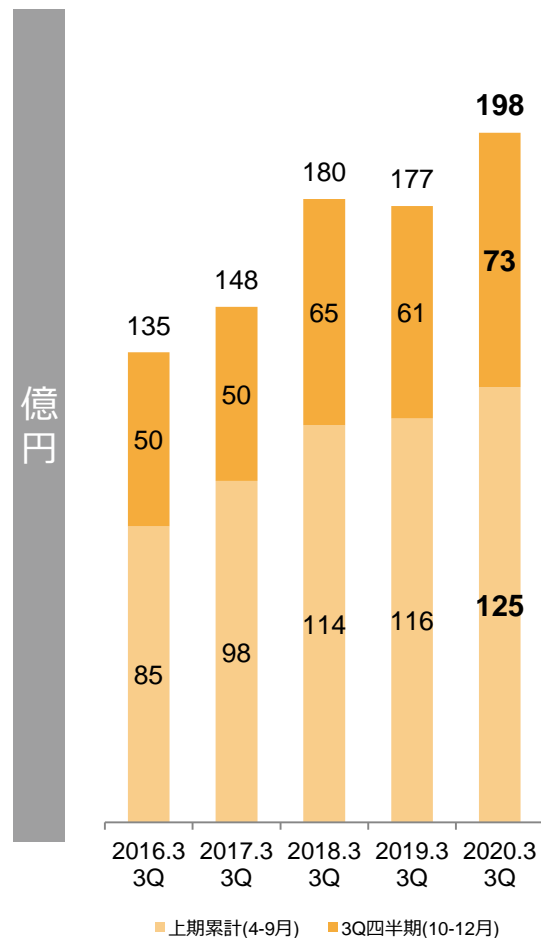
※ ()内は、品目組み替えの影響を除いた場合の実績
(2019年3月期3Qより、「試薬」に計上していた売上の一部を「サービス」へ計上)

ヘマトロジーや免疫・尿分野の試薬・サービスに加え、凝固の機器売上も伸長し、増収

- 機器：1Qは前年度4Qに需要が集中した影響があったものの、2Qより回復傾向となり、凝固の自社搬送装置の販売も貢献し、増収
- 試薬：ヘマトロジー、尿、免疫分野の売上が堅調に推移し、品目組み替えの影響を除くと増収

トピックス

- OSNA™法による乳がんのリンパ節転移検査システムが、12月に薬事承認を取得



(億円)	2020年3月期 3Q	前年同期	前年同期比 (円ベース)
売上高	198.8	177.4	112.1% (115.9%)
機器	46.2	44.9	102.9%
試薬	134.1	115.8	115.8%
サービス・その他	18.5	16.7	110.6%

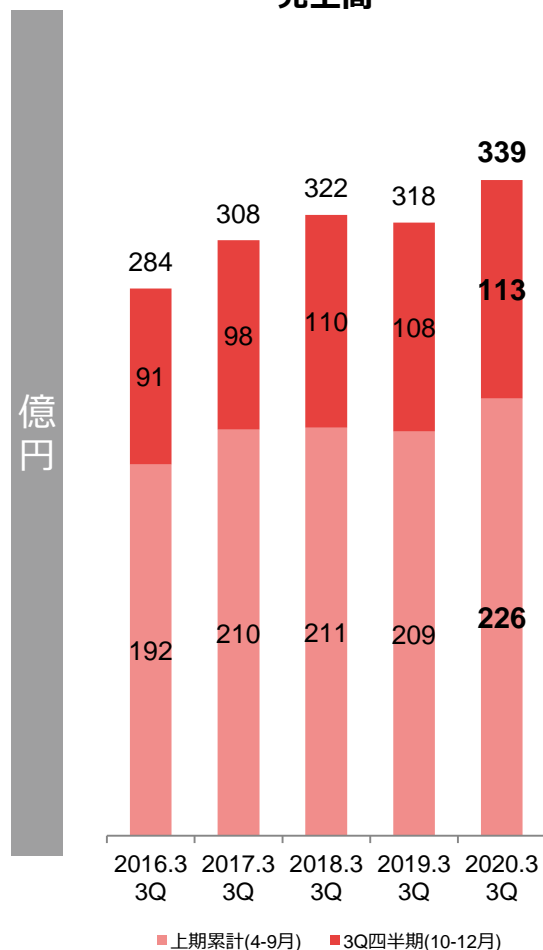
()は為替の影響を除いた場合

販売体制を変更したインドにおけるヘマトロジー分野の売上伸長や、東南アジア・南アジア地域を中心としたヘマトロジー試薬売上伸長等により、増収

- 機器：インドやタイにおけるヘマトロジー分野の売上などが伸長し、増収
- 試薬：デング熱の流行が継続し、東南アジア・南アジアにおいてヘマトロジー分野の売上が伸長したことに加え、免疫試薬も貢献し、2桁増収

トピックス

- 一部の地域では、デング熱が終息しておらず、ヘマトロジー検査の高い需要が継続中



(億円)	2020年3月期 3Q	前年同期	前年同期比 (円ベース)
売上高	339.9	318.2	106.8%
機器	64.4	54.4	118.3%
試薬	222.0	212.3	104.6%
サービス・その他	53.4	51.4	103.8%

ヘマトロジーおよび凝固分野における機器売上の伸長や、機器設置増加に伴う試薬売上の伸長等により、増収

- 機器：ヘマトロジー分野の大型案件の獲得や、凝固分野の新製品（CNシリーズ）の販売が好調に推移し、増収
- 試薬：凝固分野や免疫分野の売上の伸長等により、増収
- サービス・その他：NCCオンコパネル受託件数の増加等により、増収

2020年3月期 連結業績予想

売上高 **3,100億円**

営業利益 **600億円**

営業利益率 **19.4%**

親会社の所有者に帰属する当期利益 **385億円**

当期利益率 **12.4%**

投資計画

設備投資 **140億円**
(有形のみ)

減価償却費 **240億円**
(IFRS16適用による
リース会計基準の変更含む)

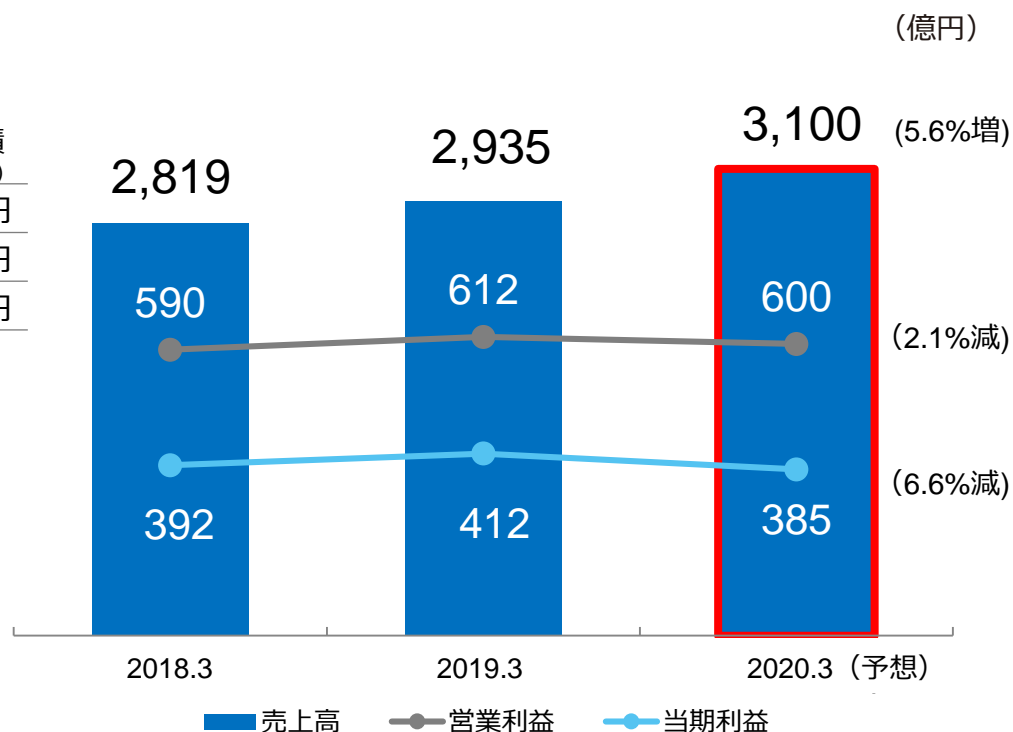
研究開発費 **220億円**

● 想定為替レート

	通期想定 (19年11月修正)	下期 (2019年11月修正)	前期実績 (19年3月期)
1 USD	108.3円	108.0円	110.9円
1 EUR	120.7円	120.0円	128.4円
1 CNY	15.5円	15.3円	16.5円

● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	6.3億円	2.1億円
EUR	4.5億円	1.1億円
CNY	52.3億円	40.5億円



(参考資料) 所在地別PL

(参考) 所在地別実績 (売上高・営業利益)

(億円)

		2020年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
				円貨	現地通貨
米州	外部売上高	470.1	456.3	103.0%	105.5%
	営業利益	16.6	25.1	66.3%	68.0%
EMEA	外部売上高	581.9	567.7	102.5%	109.6%
	営業利益	63.3	47.0	134.7%	144.4%
中国	外部売上高	565.3	547.2	103.3%	110.0%
	営業利益	42.7	69.8	61.2%	65.5%
AP	外部売上高	197.2	175.7	112.2%	-
	営業利益	30.7	22.9	134.0%	-
日本※	外部売上高	366.9	336.6	109.0%	-
	営業利益	264.0	280.6	94.1%	-

※IDEXX社等含む外部売上高

Lighting the way **with diagnostics**